

【2024年度】第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン 成果指標進捗管理（2023年度実績）

分野横断的に取り組む施策	指標	当初値	現状値	傾向	目標値
ユニバーサル（共生）プロジェクト 障壁（バリア）を取り除くとともに、全ての人の利便性の向上に向けた取組の推進	まちのバリアフリー化が進んでいると感じる市民の割合	54.9%（2022年度）	53.5%（2023年度）		75.0%（2031年度）
	高齢者・障がいのある方等の立場を理解して行動がてきている人の割合	37.0%（2022年度）	40.0%（2023年度）		70.0%（2031年度）
ウェルネス（健康）プロジェクト 生涯を通じた健康づくりや社会参加の場の充実に向けた取組の推進	市民の健康寿命	男性71.34歳 女性72.89歳 （2016年）	男性72.08歳 女性74.69歳 （2019年）		男性73.22歳 女性74.77歳 （2031年）
	日常生活における1日あたりの歩行時間	60分（2022年度）	61分（2023年度）		70分（2031年度）
	生涯学習をしている市民の割合	76.2%（2022年度）	76.4%（2023年度）		80.0%（2031年度）
	社会的役割を感じる市民の割合	18～64歳：44.4% 65歳以上：40.9% （2022年度）	18～64歳：44.5% 65歳以上：45.3% （2023年度）		18～64歳：70.0% 65歳以上：65.0% （2031年度）
スマート（快適・先端）プロジェクト1 スマートシティの推進と人材育成・産業競争力の強化	デジタル化が進んでいると実感している市民の割合	50.2%（2022年度）	57.4%（2023年度）		70.0%（2031年度）
	人口一人当たりの市内総生産（名目）	386万円／人 （2019年度）	378万円／人 （2021年度）		424万円／人 （2031年度）
スマート（快適・先端）プロジェクト2 ゼロカーボンの推進と冬季の生活を維持し、雪を積極的に利活用する取組の推進	温室効果ガス排出量	1,150万t-CO2 （2018年度）	1,025万t-CO2 （2021年度）		485万t-CO2 （2031年度）
	1人乗りが可能な除雪機械台数	175台（2022年度）	197台（2023年度）		600台（2031年度）
	冬季（12～3月）の観光客数	421万人（2018年度）	388万人（2023年度）		546万人（2031年度）
人口減少緩和プロジェクト 結婚や出産を望む市民の希望を実現するとともに、住み続けたいとなる取組の推進	合計特殊出生率	1.08（2021年）	1.02（2022年）		1.44（2031年）
	20～29歳の道外への転出超過数（日本人のみ）	2,135人（2022年）	2,468人（2023年）		0人（2031年）